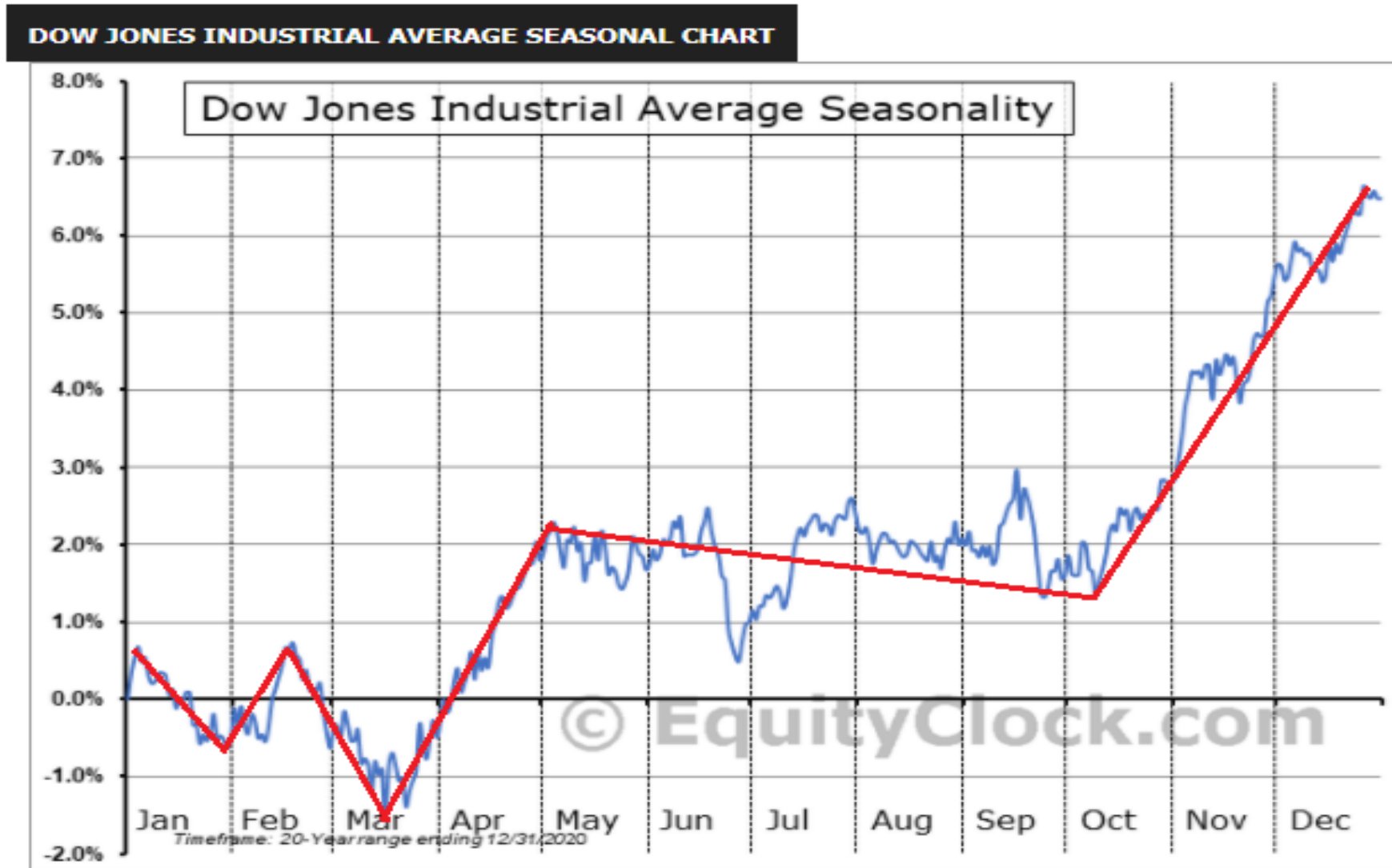
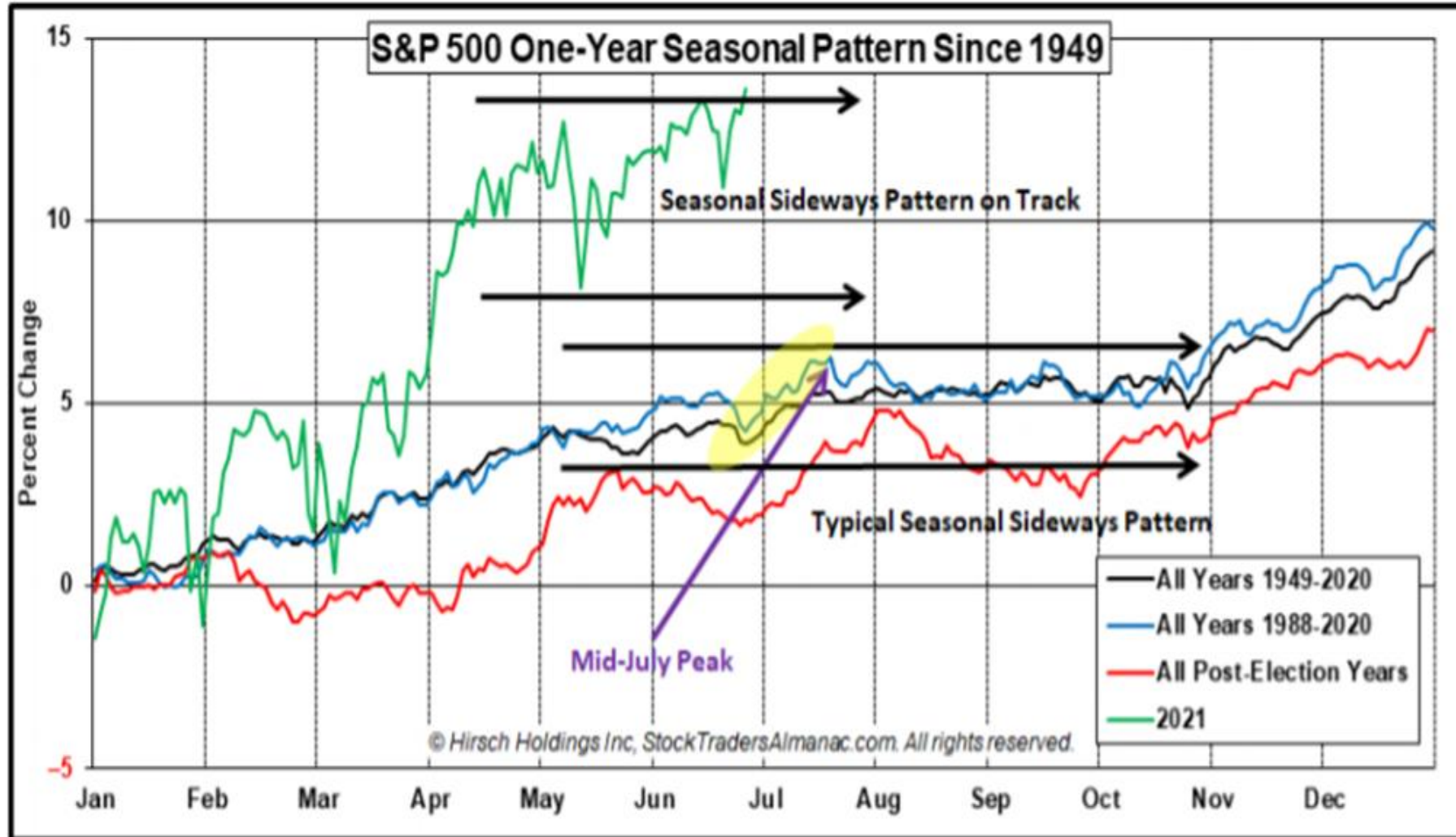


NYダウのシーズナリチャート（過去20年の平均）



出所：エクイティクロック

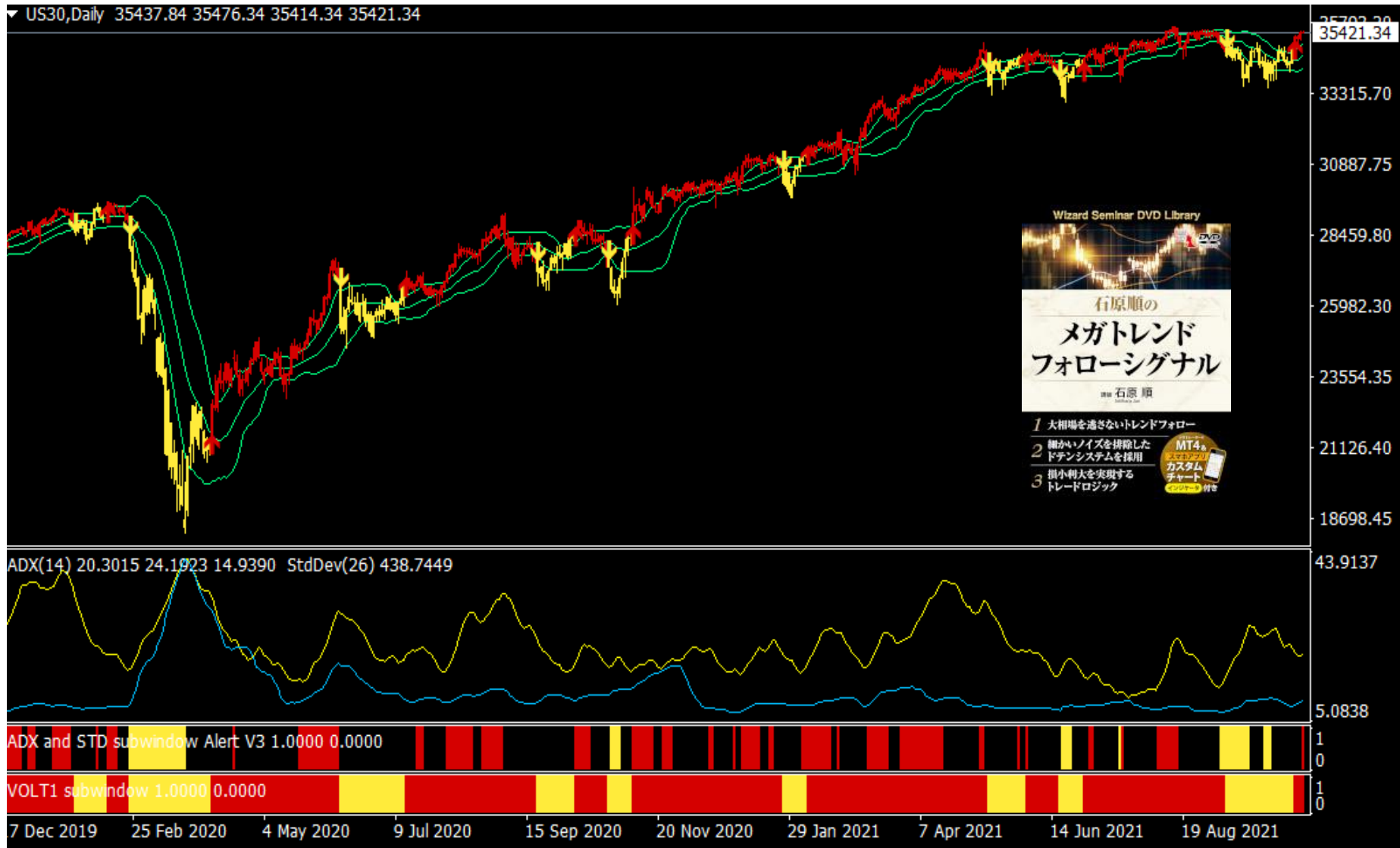
1949 年以降のS&P500 の一年間のシーズナルパターン



出所：トレーダーズアルマナック（パンローリング）

NYダウ（日足）

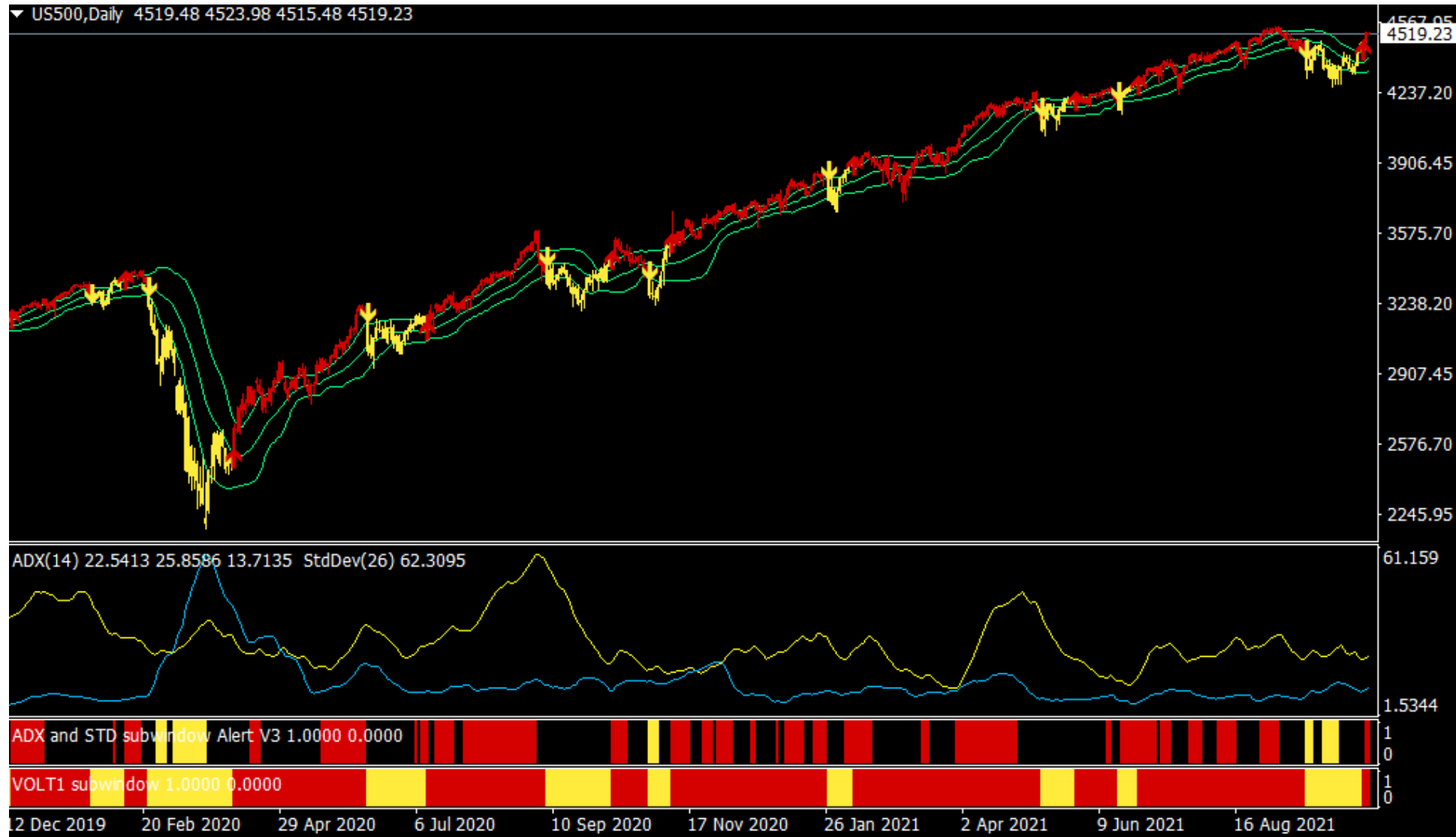
メガトレンドフォローの売買シグナル（赤↑ = 買いシグナル・黄↓ = 売りシグナル）



出所：楽天MT4・石原順インディケーター

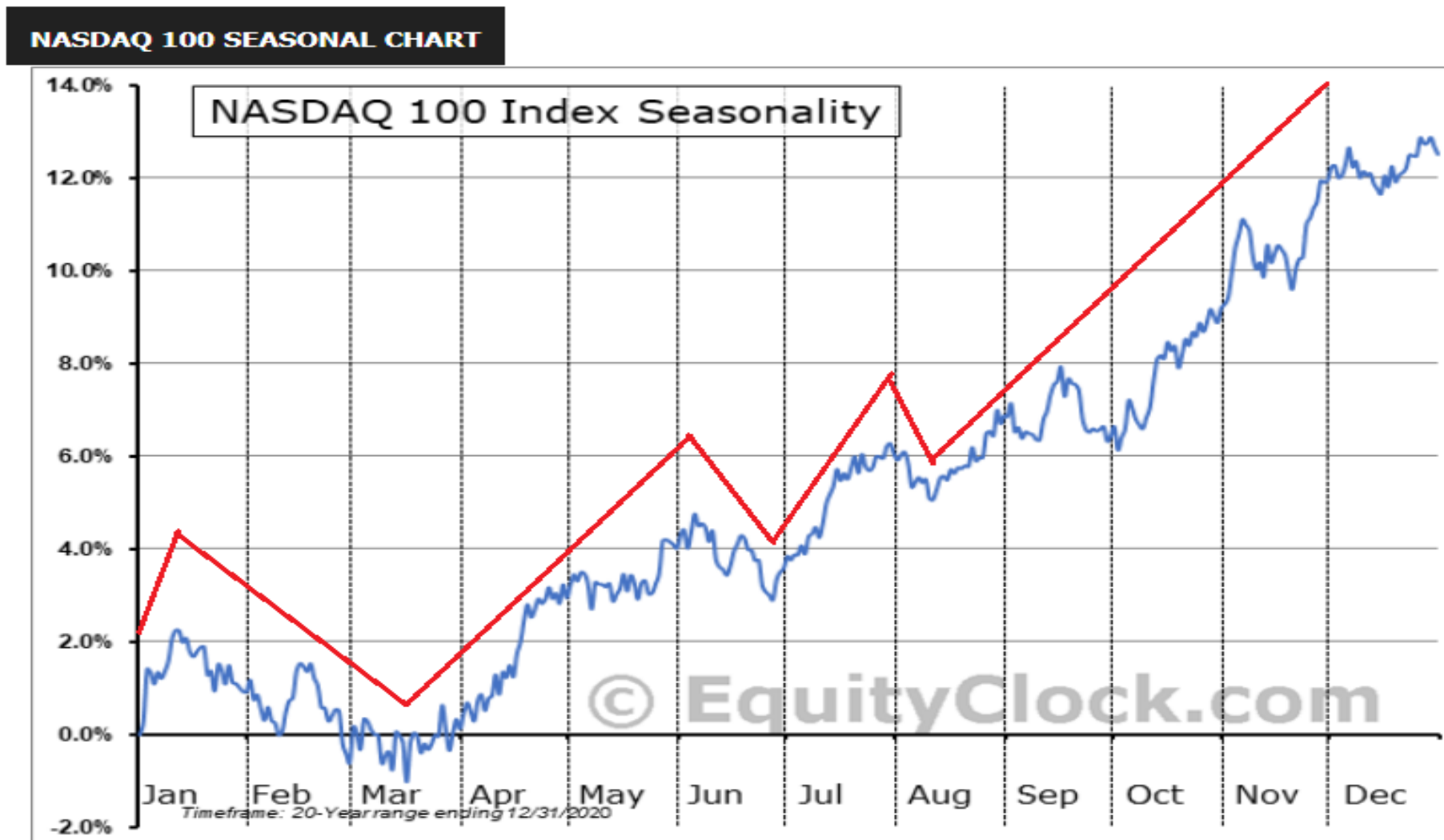
S&P500 (日足)

メガトレンドフォローの売買シグナル (赤↑ = 買いシグナル・黄↓ = 売りシグナル)



出所：楽天MT4・石原順インディケーター

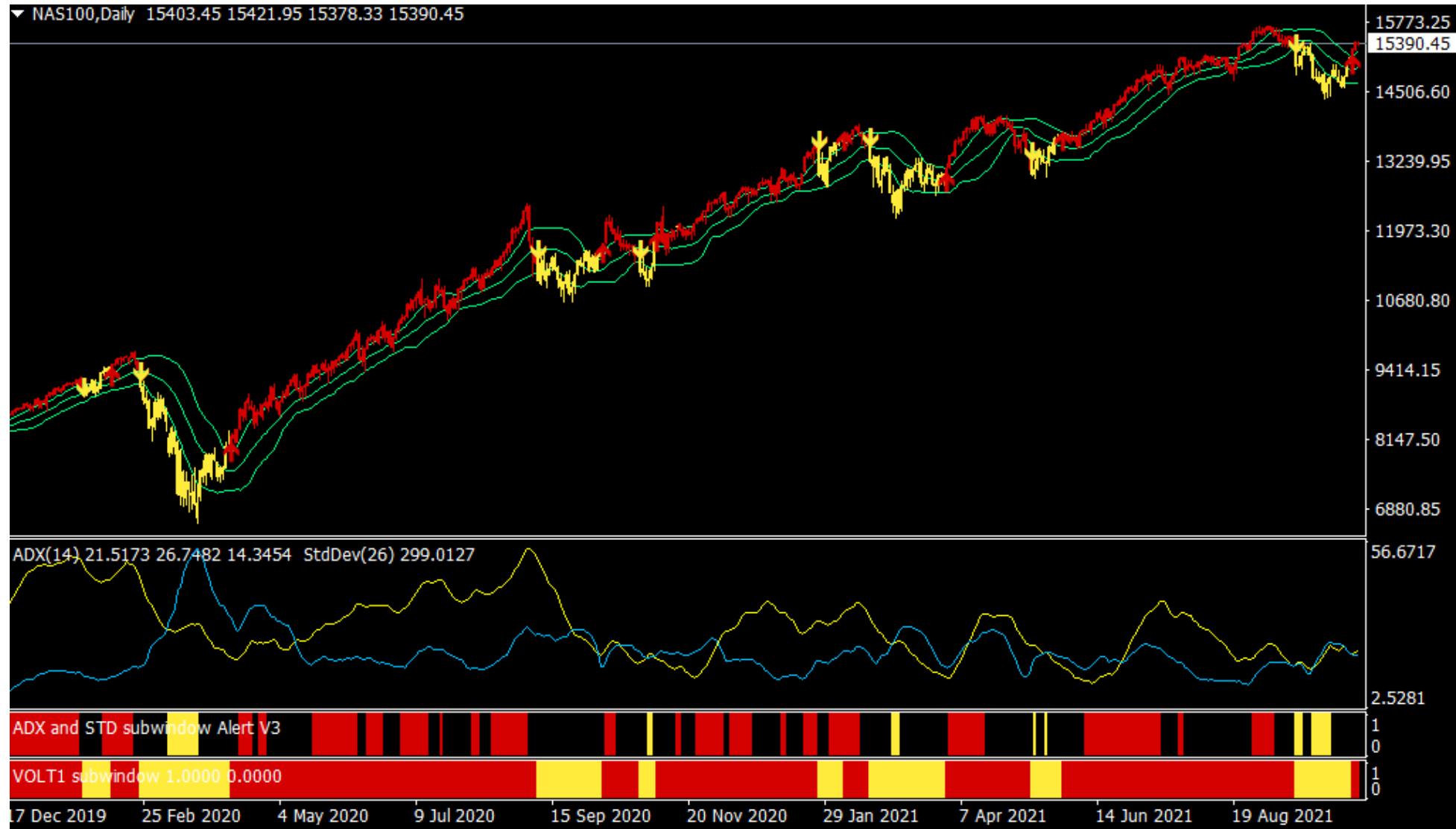
ナスダック100のシーズナリチャート（過去20年の平均）



出所：エクイティクロック

ナスダック100 (日足)

メガトレンドフォローの売買シグナル (赤↑ = 買いシグナル・黄↓ = 売りシグナル)



出所：楽天MT4・石原順インディケーター

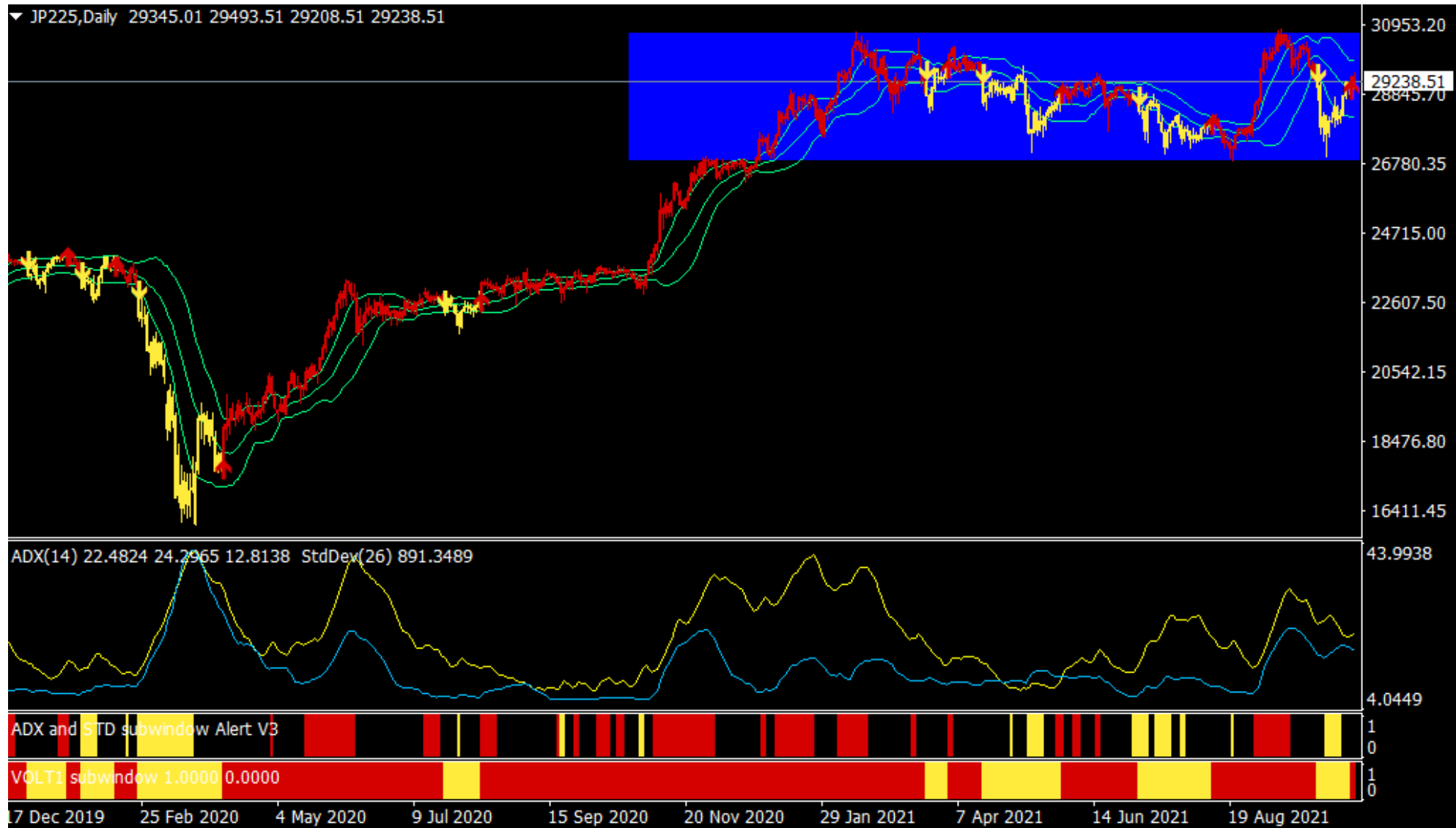
日経平均のシーズナリチャート（過去20年の平均）



出所：エクイティクロック

日経平均（日足）

メガトレンドフォローの売買シグナル（赤↑ = 買いシグナル・黄↓ = 売りシグナル）



出所：楽天MT4・石原順インディケーター

NY原油のシーズナリチャート（過去20年の平均）



出所：エクイテックロック

コモディティのスーパーサイクルが発生しているかもしれない

Figure 1: The last Oil supercycle and its drivers



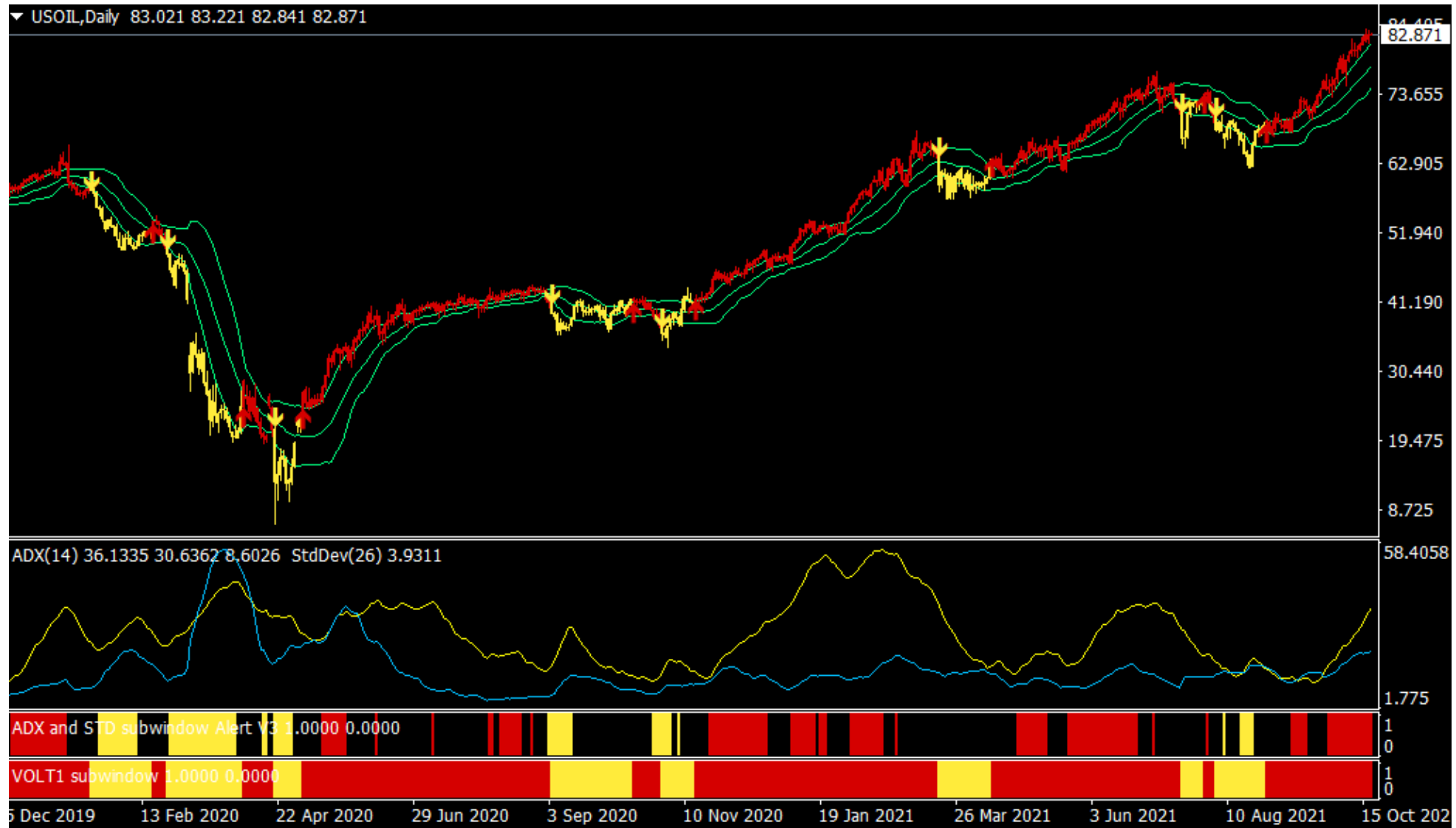
Source: J.P. Morgan Quantitative and Derivatives Strategy

JPモルガンNYは、コモディティのスーパーサイクルが発生しているかもしれない

(Commodities May Have Just Begun a New Supercycle.)、として、過去100年間でコモディティのスーパーサイクルは4度発生し、4度目は1996年から2020年(上昇局面が96年から08年の12年間、下落局面 08年から20年の12年間) だった、としました。

NY原油CFD (日足)

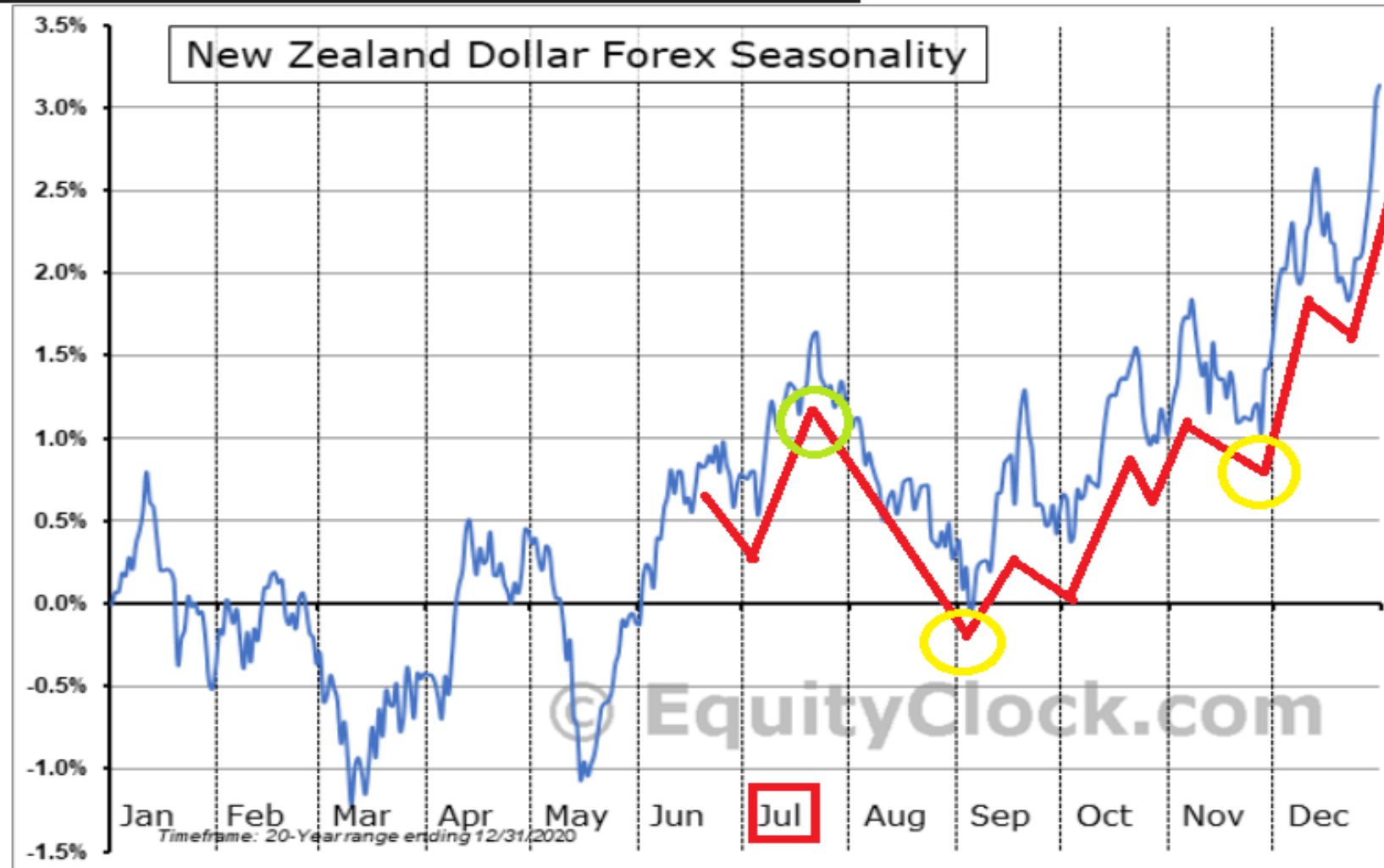
メガトレンドフォローの売買シグナル (赤↑ = 買いシグナル・黄↓ = 売りシグナル)



出所 : 楽天MT4・石原順インディケーター

NZドルのシーズナリチャート（過去20年の平均）

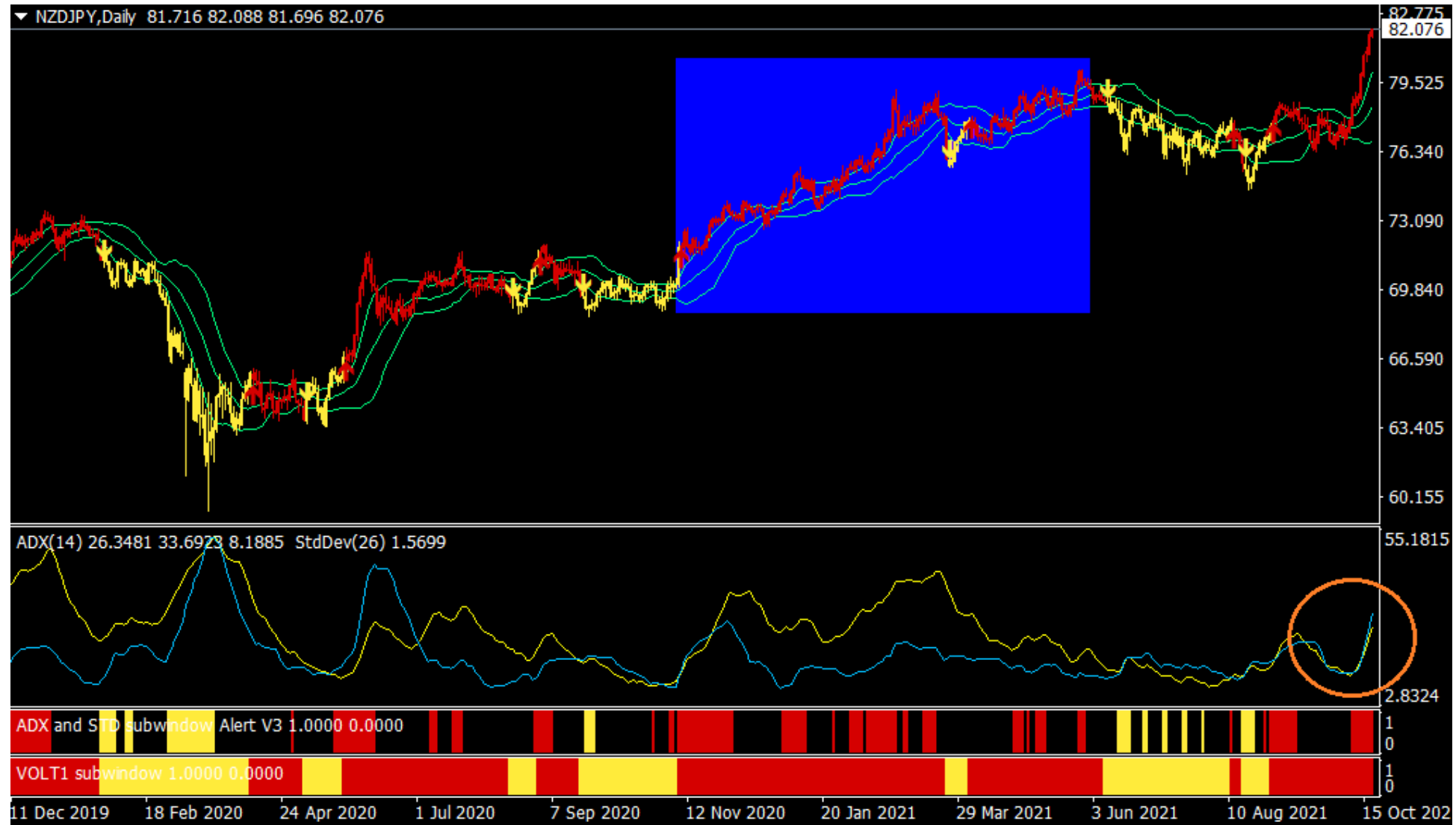
NEW ZEALAND DOLLAR FOREX (FX:NZD) SEASONAL CHART



出所：エクイティクロック

NZドル/円 (日足)

メガトレンドフォローの売買シグナル (赤↑ = 買いシグナル・黄↓ = 売りシグナル)



出所：楽天MT4・石原順インディケーター

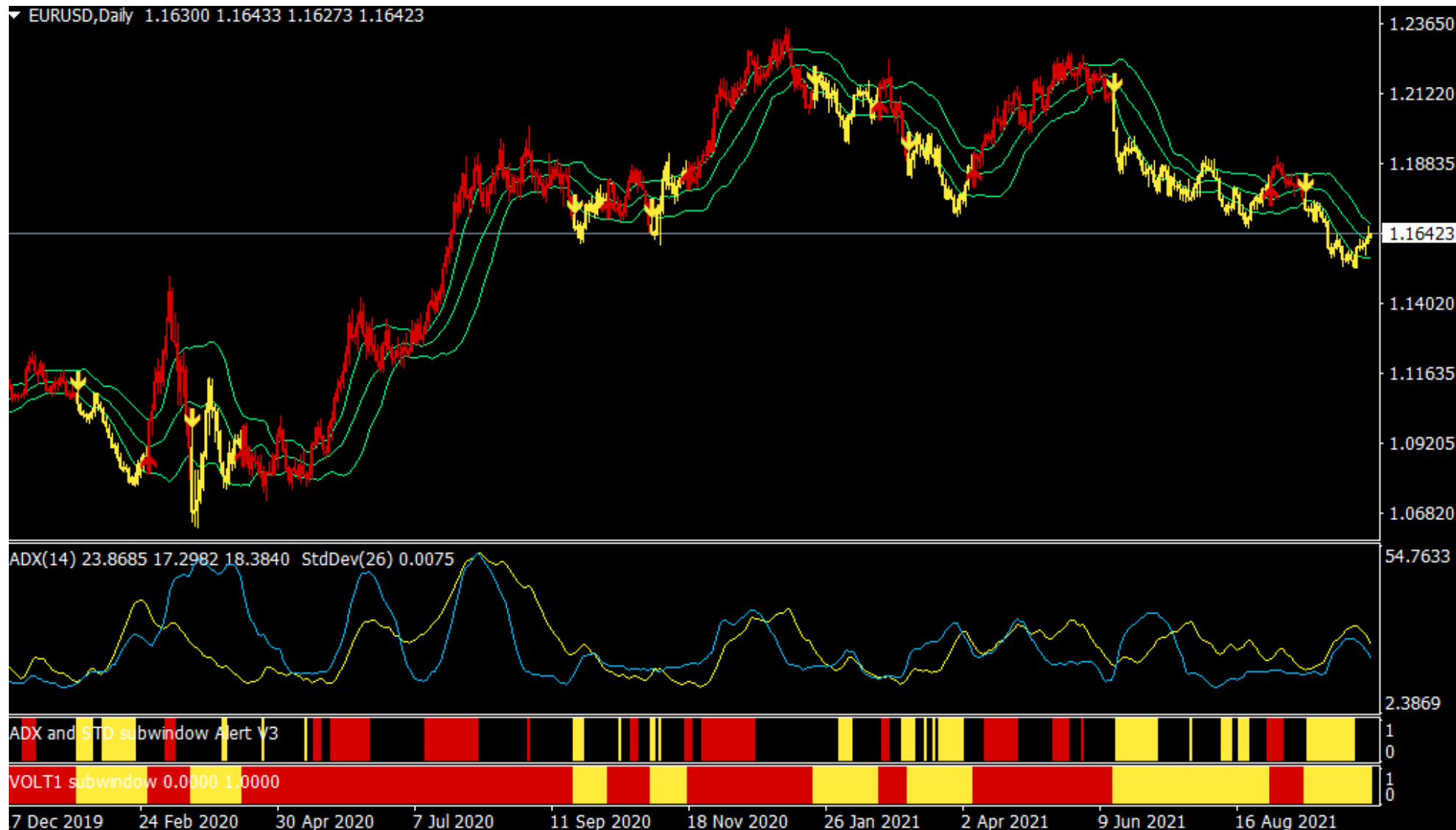
ユーロのシーズナリチャート（過去20年の平均）



出所：エクイティクロック

ユーロ/ドル (日足)

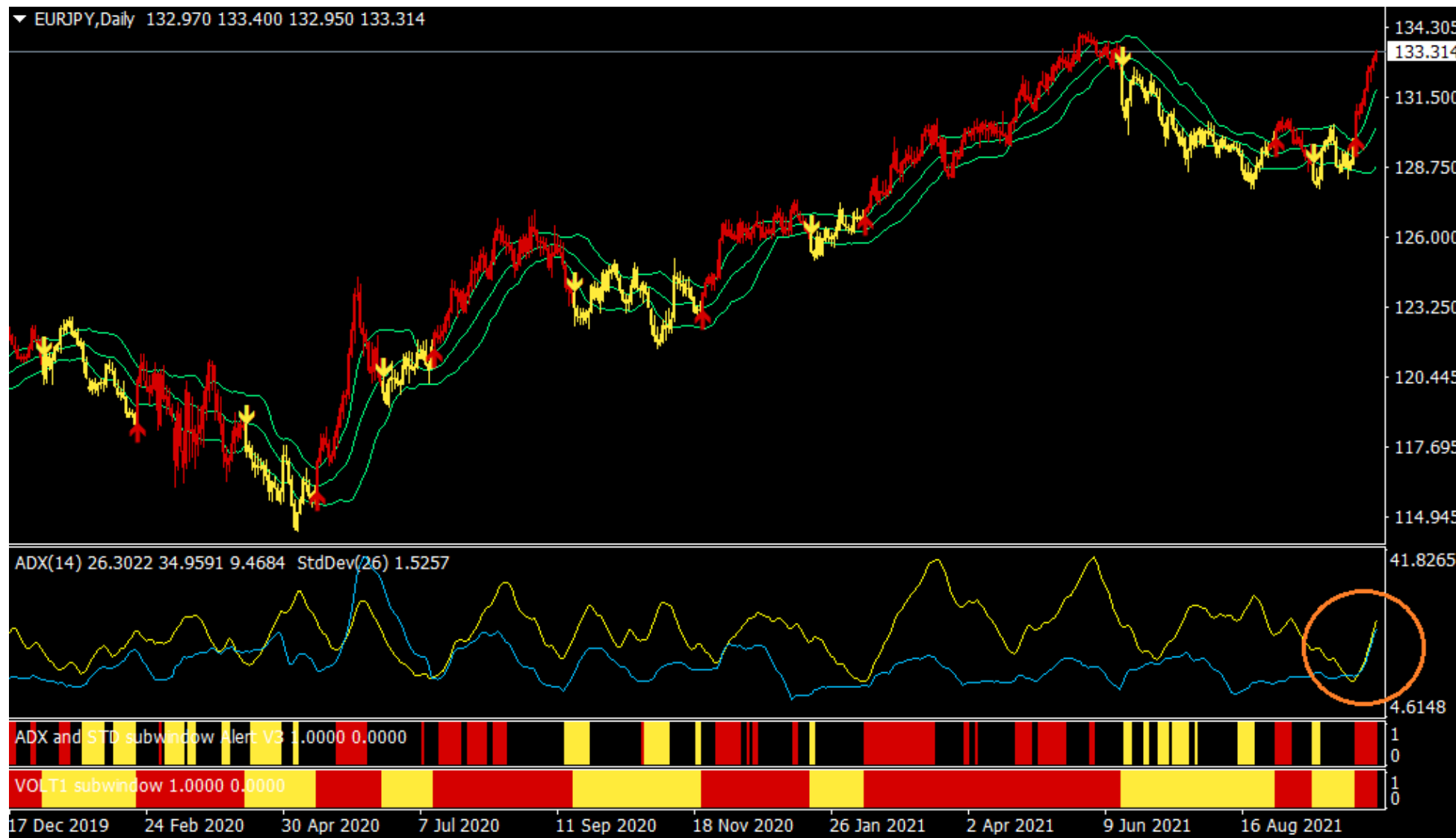
メガトレンドフォローの売買シグナル (赤↑ = 買いシグナル・黄↓ = 売りシグナル)



出所：楽天MT4・石原順インディケーター

ユーロ/円 (日足)

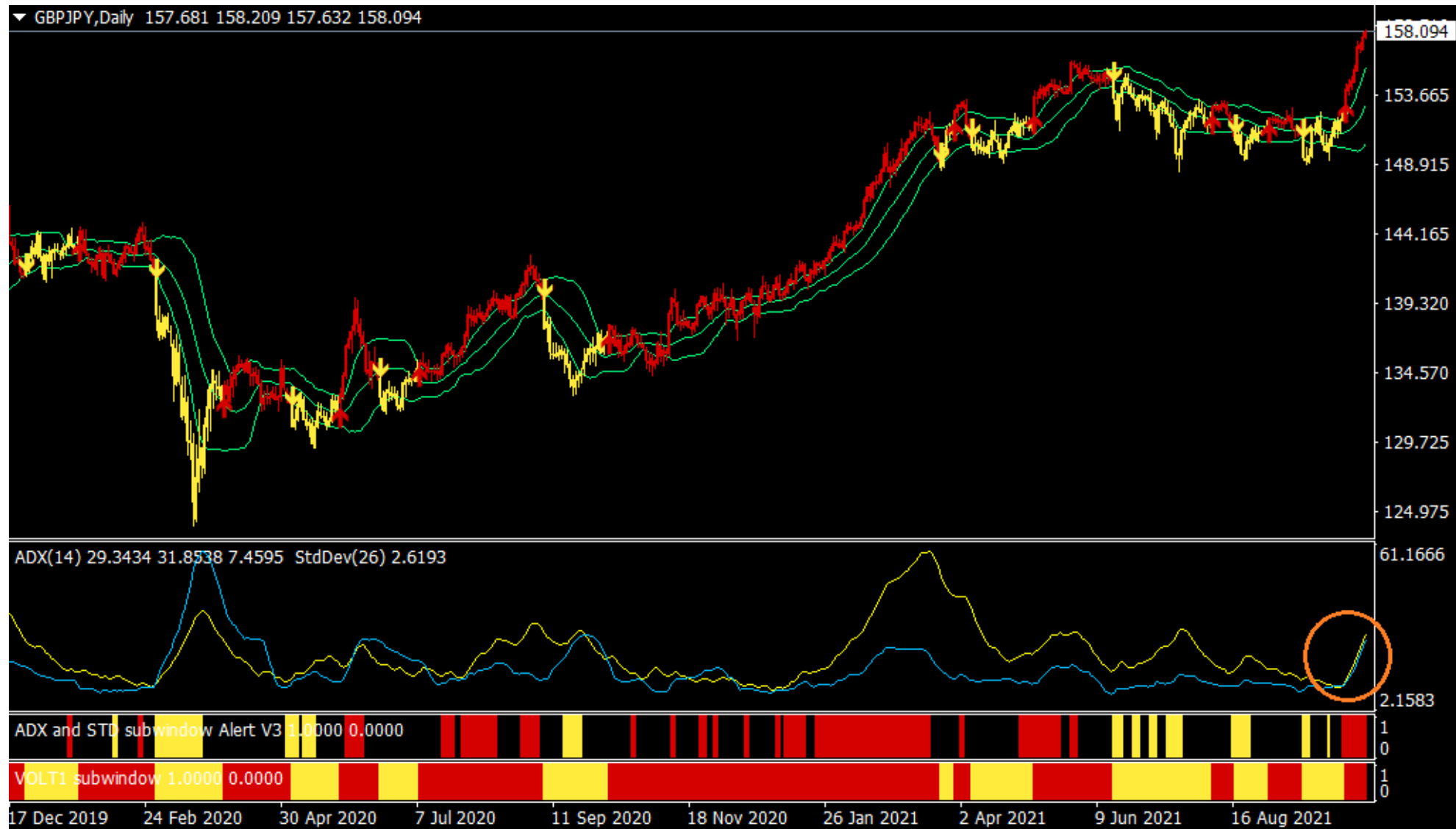
メガトレンドフォローの売買シグナル (赤↑ = 買いシグナル・黄↓ = 売りシグナル)



出所：楽天MT4・石原順インディケーター

ポンド/円 (日足)

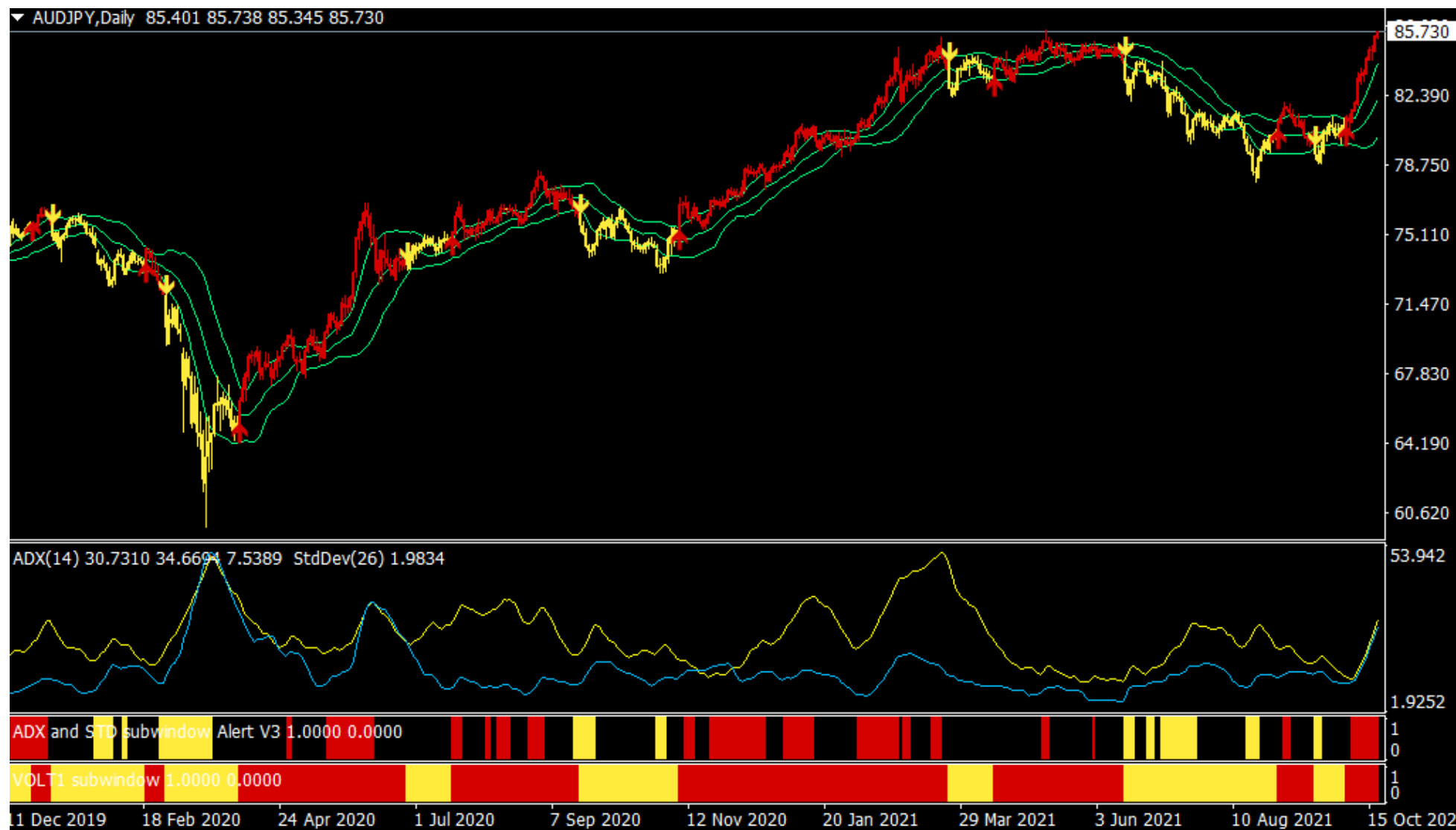
メガトレンドフォローの売買シグナル (赤↑ = 買いシグナル・黄↓ = 売りシグナル)



出所 : 楽天MT4・石原順インディケーター

豪ドル/円 (日足)

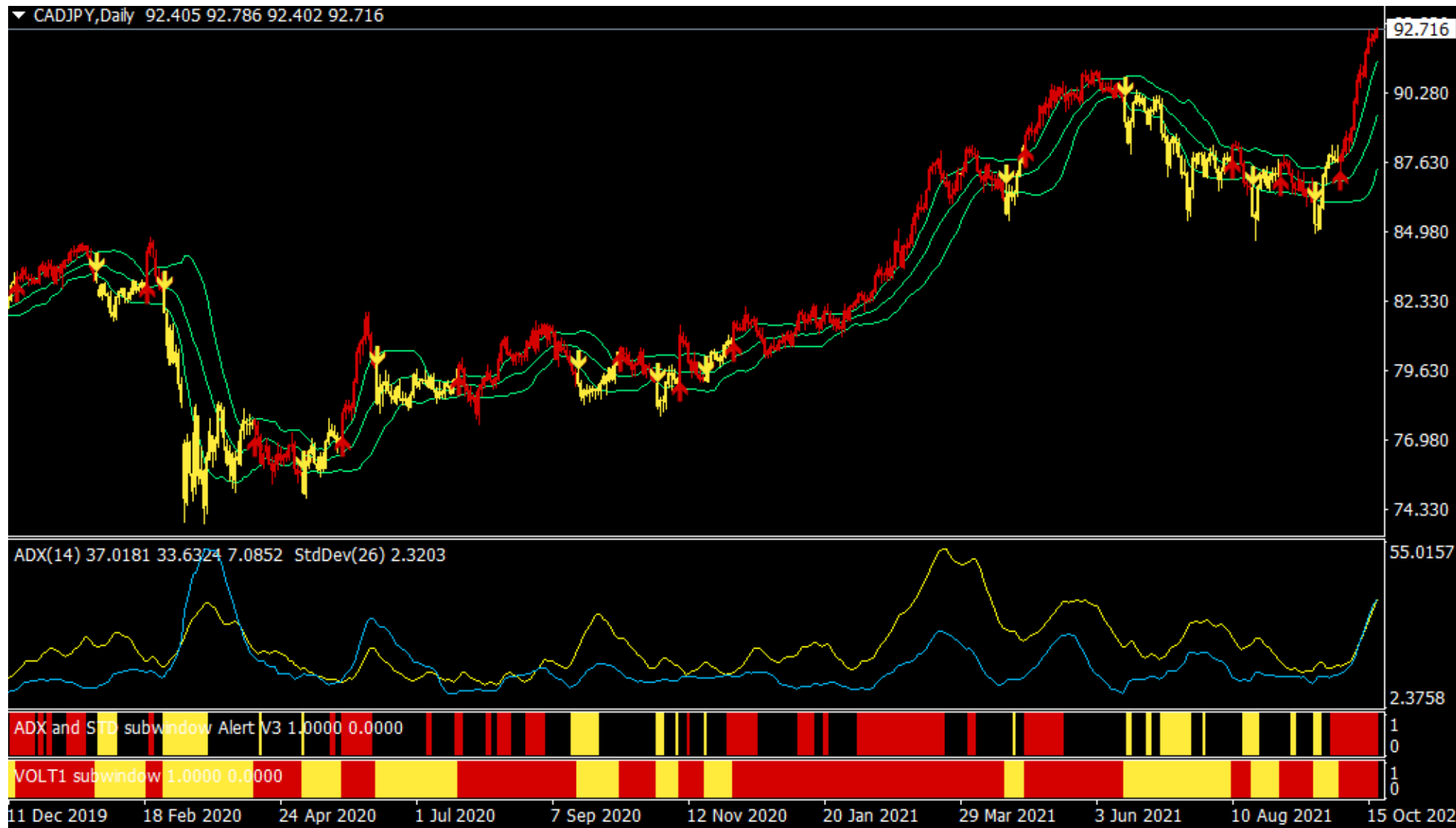
メガトレンドフォローの売買シグナル (赤↑ = 買いシグナル・黄↓ = 売りシグナル)



出所：楽天MT4・石原順インディケーター

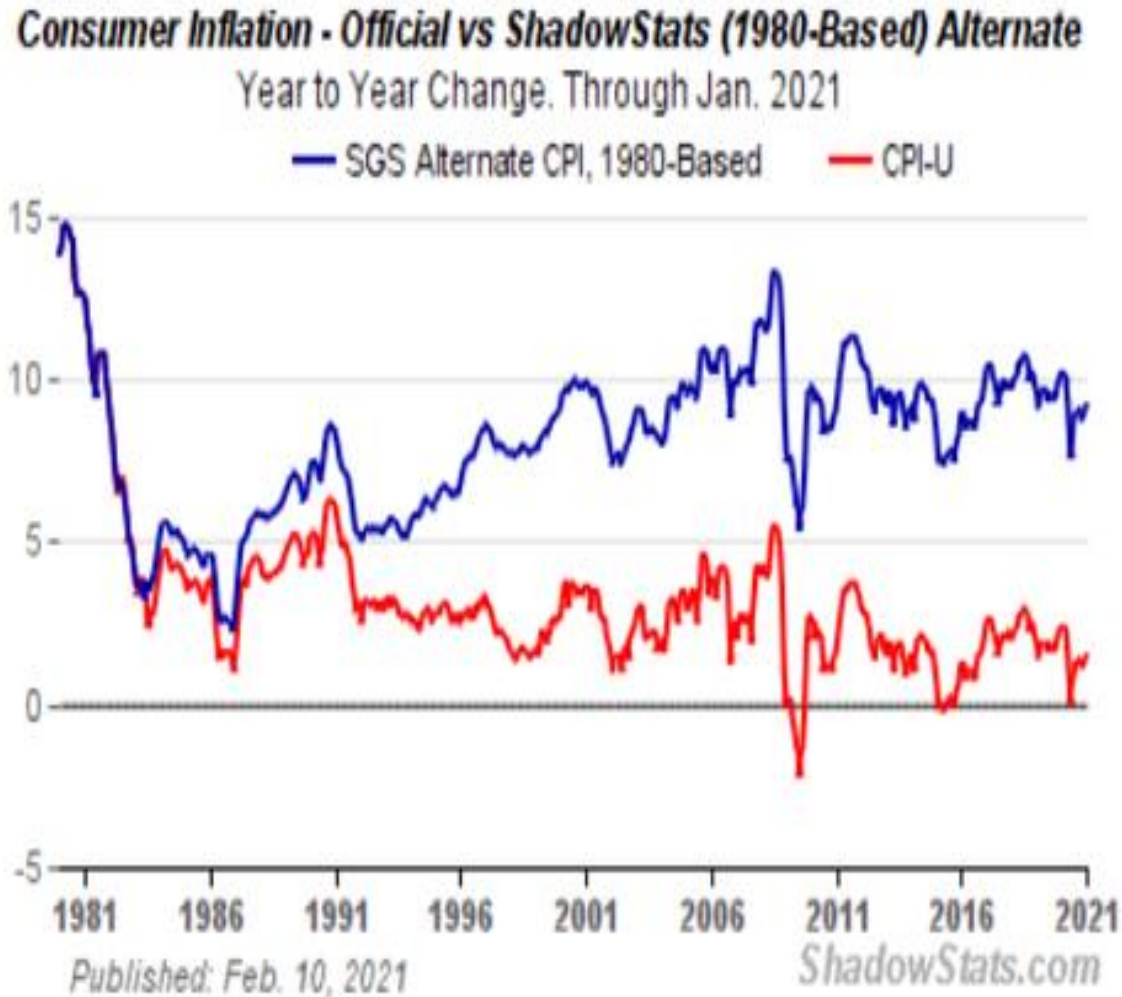
カナダドル/円 (日足)

メガトレンドフォローの売買シグナル (赤↑ = 買いシグナル・黄↓ = 売りシグナル)



出所：楽天MT4・石原順インディケーター

FRBは何年も前からインフレについて嘘をついていた



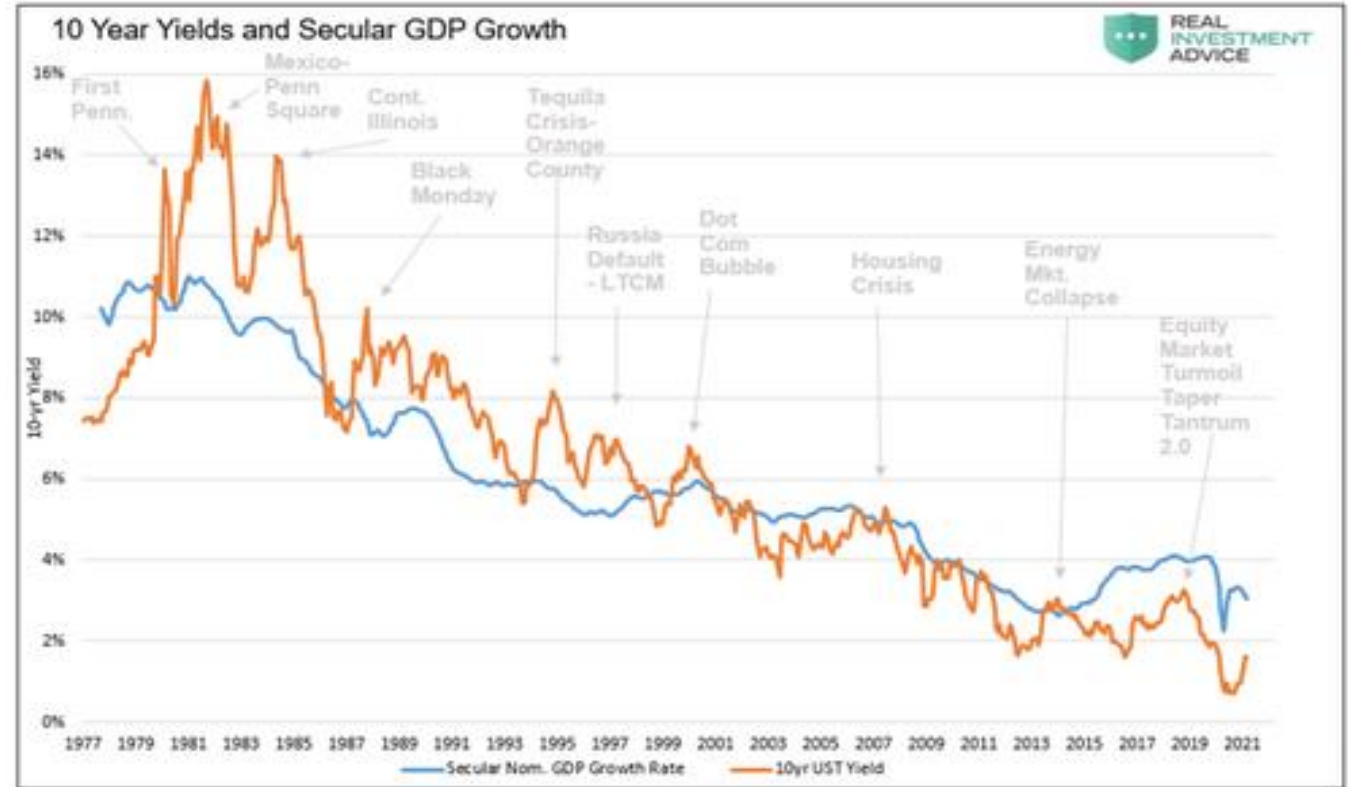
例えば、1980年代にFRBがCPIインフレ率の測定に使用していた加重方法を現在も使用していたとしたら、米国のCPIインフレ率は報道されている2%ではなく、10%に近い値になっていただろう。

インフレになったら中央銀行バブルは終わり。 だが、インフレは一過性のものだとほぼ決定している。

インフレは一過性のものだとほぼ決定している。確かに今、物価は上がっている。しかし、それは一過性のものであり、心配する必要はない。インフレが一過性のものだとなぜわかるのか？FRBがそう言ったのだ！

FRBはインフレを認めるわけにはいかないだろう。しかし、FRBの願いとは対象的に明らかにインフレに対する懸念は高まっている。

現在の不幸は、ほとんどの資産がFRBによって「固定」されており、債券は暗黙のイールドカーブ制御の世界で取引されているため、インフレのシグナルをすべて失っている。



過去40年間を振り返ってみると、金利が低下傾向の上限に達した時には、毎回何らかの金融危機が発生する！？

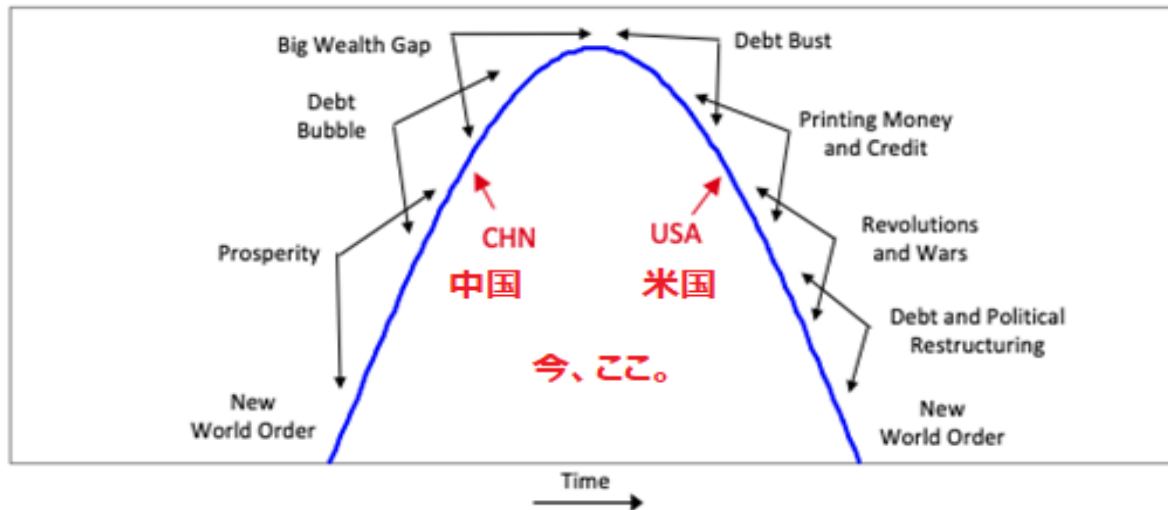
上のグラフは、金利とGDPの着実な低下と、一時的な金利上昇時に発生した様々な危機を示している

出所：リアルインベストメントアドバイス

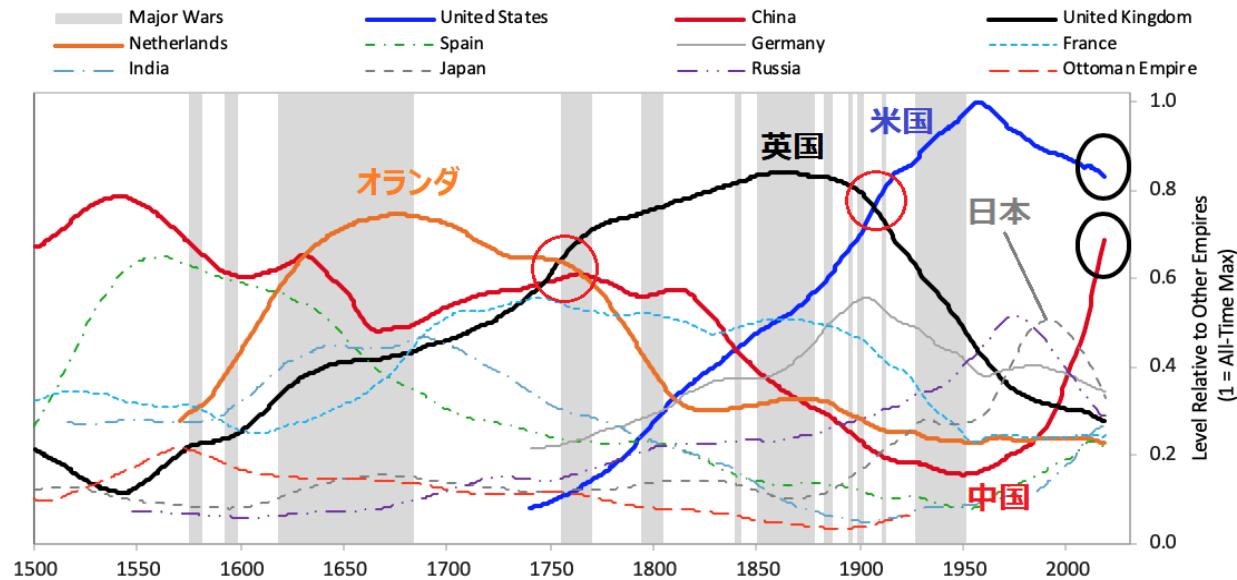
【大衆は、急激な産業化や大量消費社会の波に洗われ、自らのコミュニティや足場となる場所を見失い、根無し草のように浮遊を続ける。他者の動向のみに細心の注意を払わずにはいられない大衆は、世界の複雑さや困難さに耐えられず、「みんなと違う人、みんなと同じように考えない人は、排除される危険性にさらされ」、差異や秀抜さは同質化の波に飲み込まれていく。こうした現象が高じて「一つの同質な大衆が公権力を牛耳り、反対党を押しつぶし、絶滅させて」いくところまで逢着するという】

NHKテレビテキスト「100分 de 名著」
『オルテガ「大衆の反逆」』 2019年2月

The Typical Big Cycle Behind Empires' Rises and Declines



Rough Estimates of Relative Standing of Great Empires

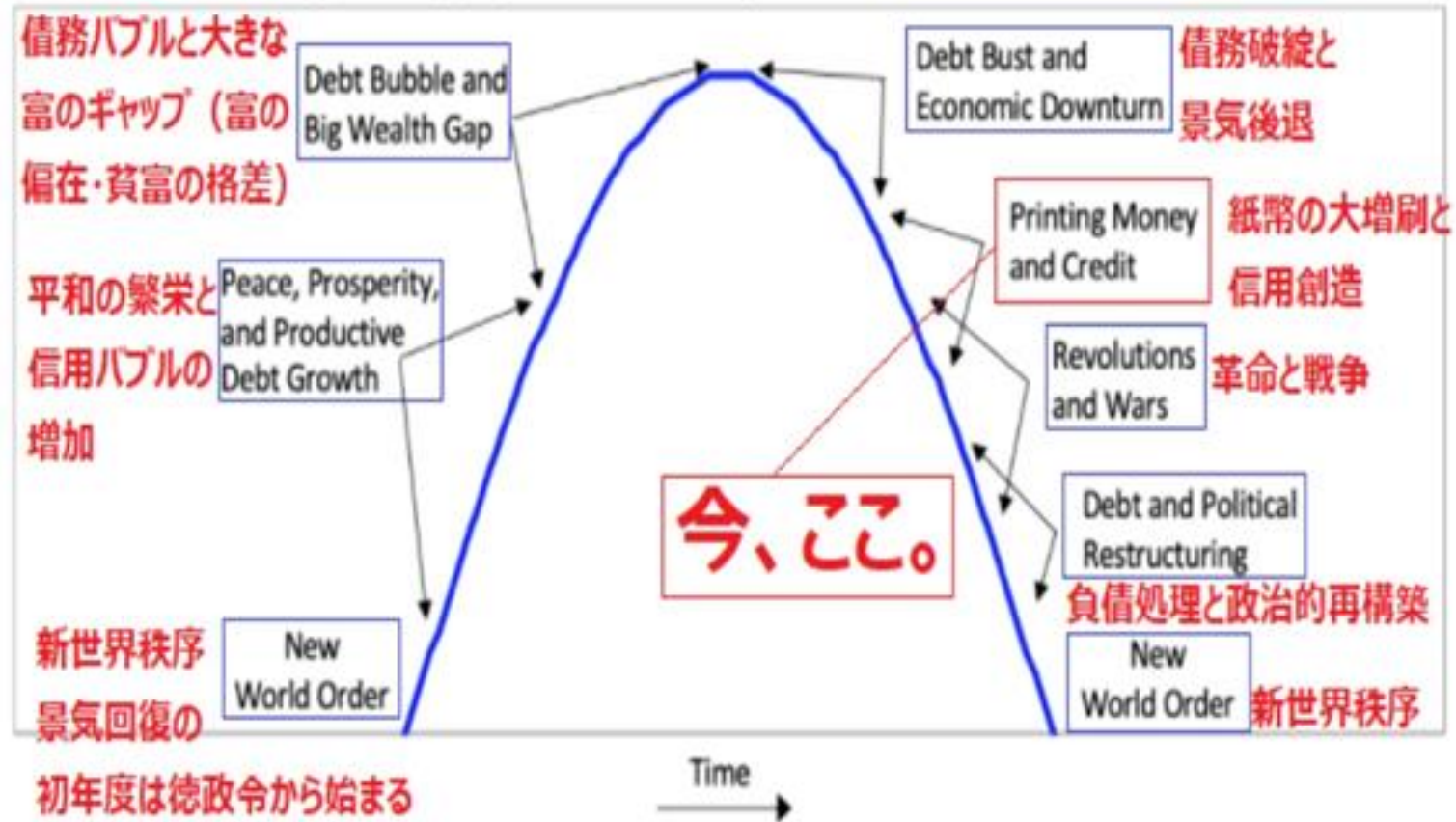


出所：レイダリオ（リンクトイン）

帝国の背後にある大きなサイクル

帝国の背後にある典型的な大きなサイクル

The Typical Big Cycle Behind Empires' Rises and Declines



出所：レイ・ダリオ（リンクトイン）